



Sapporo Gakuin University

学園広報

1999. 2. 25 No.72

編集・発行 札幌学院大学 企画調査室
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011) 386-8111

98年度から京都学園大学法学部と本学法学部との間で、単位互換制度による学生交流を開始しました。現在京都学園大学で学んでいる荒川さんに生活の様子を寄せていただきました。

私が京都学園大学へ来てから今までの生活の中で、最も多くの時間、体力その他の面において重点が置かれているものは……授業だというのが期待されるかもしれませんが……クラブ活動です。

私は京都に来て間もなく、

大学の硬式野球部のマネージャーになりました。毎日、暗くなるまで練習、そして土日には試合が多く、気がかぬうちになつたり私の生活の中心になっていました。もちろん練習は授業が終わってから。だから家には寝る時くらいしか

いなかっような気がします。こちらの野球部は京滋リーグに属しており、毎大会優勝を争っている強いチームです。ですからマネージャーとしても大変応援のしがいがあります。部員数も多いのでたくさん友達できました。

普段の学校生活の中でも「私が単位互換で来ている」と言うと、その制度に興味を持ってくれる人がたくさんいたり、学校の道を歩いていて

も、「札幌の子でしょ」などと話しかけてくれるような気さくな感じの人が多く、すぐになじむことができました。

私は、この京都学園、そして野球部にすっかりホレこんでしまつて、四月からは編入学することによってこちらに

国内留学生だより

京都学園そして野球部との出会い

法学部法律学科2年 荒川 敬子

交流の絆より強く 国内留学ネットワーク広がる



一九九八年度は、七月七日に立正大学経営学部、十月十九日に沖縄国際大学商経学部との間に新たな単位互換協定(以下「協定」)が締結され、協定による国内留学のネットワークが更に広がりました。

国内留学を経験した学生の「米軍基地と隣り合わせの生活の中で改めて平和のことを問い直した(沖縄国際大学に留学した法学部生)の感想に見られるように、異文化体験を経た学生の社会を見る目は大きく成長しています。現在本学で受け入れている学生も「是非後輩にも経験してほしい」と感想を述べており、協定による交流は着実に成果を上げています。また協定締結の記念講演等で、教員間の交流も図られています。

協定書を交わす立正大学の加藤経営学部長(左)と本学・蔵田商学部長(右)と本学にて

本年度初めて協定を締結した立正大学は、東京都品川区大崎と埼玉県熊谷市に校舎を持つ六学部(経営学部、法学部、文学部、経済学部、法学部、社会福祉学部、三研究科(文学研究科、経済学研究科、法学研究科)を備えた総合大学で、その創起源は江戸時代まで遡る「日本一古い大学」です。その中で、経営学部は昼夜開講制を取り入れるなど大学改革に積極的な学部です。

沖縄国際大学は、沖縄県真野市の中心部に位置し、三学部(法学部一・二部、商経学部一・二部、文学部二)二研究科(地域文化研究科、地域産業研究科)を擁する文科系

単位互換協定を締結

商学部と立正大学経営学部
商学部・経済学部と
沖縄国際大学商経学部



野球部の学内での表彰式当日、マネージャー3人で(中央が筆者)。

定を結び、半期留学制度を設けて毎年学生を送り出しています。この留学制度は、学生にとって英語によるコミュニケーション能力の向上はもちろんです。異文化に触れることによる国際的視野の育成に大きな成果を上げています。

このたび、現地の授業料、生活費、渡航費などの経済的負担を軽減し、より多くの学生に留学する機会を提供できるよう、学業成績、留学の動機、語学力などを総合的に審査し、奨学金を支給すること

外国留学奨学金制度が発足

外国留学をバックアップ

本年度は、米国バシフィック・ルーゼラン大学派遣留学生には十名を限度として各二十万円、英国エセックス大学派遣留学生には一名に三十万円を支給する予定です。

多感な学生時代だからこそ、ひとりでも多くの学生が留学を通して多くのことを吸収し、学生生活をより有意義なものとしていただきたい。この奨学金制度がその一助となることを願っております。

本学は、外国の大学、教育研究機関等との交流を推進し、教育及び研究の充実発展を図るため、「札幌学院大学国際交流基金」を創設し、平成十年度からこの基金の運用果実を財源とした事業を開始しました。事業のひとつとして、外国の大学に留学する学生の奨学金を奨励することを目的とした「札幌学院大学外国留学奨学金」制度が発足しました。

本学では、米国バシフィック・ルーゼラン大学および英国エセックス大学との間で協



英国エセックス大学のキャンパス



平成11年度 公開講座のご案内(予定)

地域に根ざした大学づくりをめざして、本学では毎回幅広いテーマで公開講座を開講しています。第一線で活躍する専門家や本学教員陣によるユニークな講義は、学ぶ楽しさを味わうことができる良い機会となるでしょう。一般の方々の受講もお持ちしております。

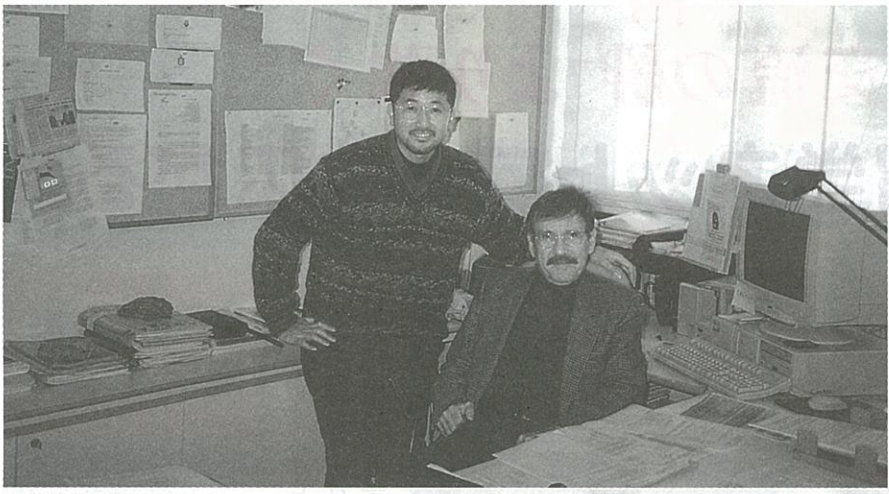
講座名	期間	テーマ	日数	対象	定員	受講料	申し込み開始
土曜公開講座	5/8~7/10	「これってなあに? どういうこと? -法と政治の10不思議-」	10日	・一般市民 ・夜間部生	80人	無料	4月
人文学部公開講座: 北海道文化論	8/30~9/4	「北海道の宗教文化」	6日	・一般市民 ・人文学部生	150人	無料	8月
商学部第二部公開講座: 商学特別講義 A	8/23~8/28	「お店を持つ!」	6日	・一般市民 ・商学部生	270人	無料	8月
心理臨床センター主催 公開講座	7月下旬 10月下旬	「子どもの心の問題 セミナー」(仮)	3日	・養護教諭 ・教員	75人	8,000円	5月~ 開講1週間前
法学部公開講座: 法政特殊講義	9月中旬~ 12月中旬	「女性・社会・法」	11日 (毎木曜)	・一般市民 ・法学部生	300人	無料	8月 (予定)

海外レポート

イタリア

刺激的な研究生生活を楽しむ

社会情報学部助教授 森田 彦



Ciofi教授の研究室にて

九八年四月から、イタリア中部にあるペルージャ大学物理学科に客員研究者として滞在しています。ここでは、しばしば情報処理教育の研究から離れて、原子核理論の研究に集中させてもらっています。

私の研究テーマは、大まかに言えば原子核内部の構造を解明するという事になるのですが、その為には、プロトロンと中子(例えば電子等)をぶつけて、叩き出された粒子(ここでは陽子と中子)の散乱過程を解析する必要があります。そうする事で陽子が核内での様な状態にあったかが初めて分かるからです。しかし、そのためには、叩き出された陽子が観測器にかかると同時に、他の核内粒子からなる様な相互作用を受けるのかわかりかねておかなければなりません。これが当地での研究テーマです。こちらで

世話になった。イタリアもこの問題に早くから関心を持っていました。そこで、一年間共同で研究を進めようという事で、このペルージャ大学を留研先に選んだ訳です。

ペルージャ大学はそれ程大きな大学ではありませんが、Ciofi教授がこの分野で指導的な立場にあるため、少なからぬ研究者が国内外から彼の議論あるいは共同研究を求めて大学を訪ねて来ます。ですから当然、私もそういった研究者と議論する事ができます。そこで、この機会を生かして人的な研究ネットワークを広げる事ができたらと考えているところです。

ここイタリアでは研究上でも刺激的ですが、日常生活も刺激に満ちています。例えば、警官に警察署の道を開いたらその道が閉鎖していたり、通りにある公共の時計がどれも異なる時刻を表示していたり……等々。ある本に「イタリアだけは決してされない国だ」という言葉が引用されています。

来ない、汚れている、うるさい。ただし退屈だと思いません。私に決して退屈する事のない刺激的な毎日を送っています。

エクステンションセンター 旅行業務、宅建、パソコンエクセル… 合格者続々

本学にエクステンションセンターが開設されてから一年が経過しようとしています。この間、就職状況は依然として好転する兆しはなく、特に北海道は他地域に比して厳しい環境に置かれております。

この状況下、当センターは、「在学生の資格取得・能力開発を支援し、就職に有利な条件を付与する」という目的に掲げ、様々な施策を展開してまいりました。その結果、旅行業務等の国家試験をはじめ、各種の資格試験で多くの合格者を出し、当初の目標をほぼ達成することができました。これは、なによりも、本学学生の真摯な取り組みの結果であることは言うまでもありませんが、講師の先生をはじめ、当センターの運営にご協力・ご助言をいただいた方々のご支援の賜物です。

夏休みも返上し 試験を突破
国内旅行業務取扱主任者試験に合格

松本 淳子
人文学部英語英米文学科3年

一九九八年度の国家試験等
主な資格試験合格者数

国内旅行業務取扱主任者	15名(32.6%)
宅建建物取引主任者	30名(66.6%)
一般旅行業務取扱主任者	4名(57.1%)
パソコンエクセル中級認定	2級 8名(66.6%)
3級	47名(94.0%)
初級FP(ファイナンシャル・プランナー)資格認定者	162名(100%)

一月現在()は合格率

就職に少しでも有利になるように何か資格が欲しいと考へていた時に、開講したのが「国内旅行業務取扱主任者講座」でした。最初の授業出席して失敗したかと思いきや、私は地理も法律関係もまったく受け付けない体質だったからです。でも受講料を無駄にしたいと思いません。

あれだけ合格は無理だと思っていたのに、やってみると地理の授業は思っていたよりもずっと楽しかったです。今まで場所さえもよく分からなかった席にも気にならなくなった。私には様々な観光名所があることに驚き、自分で旅行してみたいという気持ちが湧き、勉強してよかったと実感しています。

あれだけ合格は無理だと思っていたのに、やってみると地理の授業は思っていたよりもずっと楽しかったです。今まで場所さえもよく分からなかった席にも気にならなくなった。私には様々な観光名所があることに驚き、自分で旅行してみたいという気持ちが湧き、勉強してよかったと実感しています。

平成11年度 学費改定

学費制度を変更

入学時から卒業時までの 総学費を明示

平成十年十二月五日に開催された学校法人札幌学院大学第一三〇回理事会において、学費制度を変更し、在学生及び平成十一年度入学生の学費について別表の通り改定することを決定しました。

現在の学費制度は、新入生のみならず在学生の学費をも原則として毎年度改定する、いわゆる「スライド制」が昭和五十六年度以来採用されてきました。前年度人事院勧告による公務員給与の改定率に教育・研究条件維持改善率(五%)を加えた値を学費値上げ率の上限とし、他大学の学費を勘案しながら年度の

学費改定率を決定するも、この制度の目的は、同一年度全学年同一授業料の実現によって学費負担の公平を維持しつつ、学園財政をめぐり学内外情勢の変動に適切に対応できる財政運営を可能にすることにありました。

しかし、本学学費について、高すぎる、毎年改定する、次年度以降いくらか上がるのか(卒業までいくらかかるのか)わからない等の声があがっており、この制度はおおよそ学園の意図しないところで不満を高めるものとなってまいりました。

本学のこれまでの学費は、初年度学費はもとより卒業までにかかる総学費(入学金、諸費除く)においても道内他大学に比べて高いものではありませんが、このような不満の声が聞かれるのは、説明不足もさることながら、この制度自体の問題があるためといわざるをえません。各年度の学費が入学時点で決められているのに対して、たとえ金額的には同じであっても毎年学費改定が行われる方が、高学費との印象を在生及びその父母に与える可能性もありません。また、次年度の取支が均衡するように学費を改定する

方法は、経費の増加に対応させた安易な学費改定のやり方と見られても致し方ない側面もあります。

このような本学学費制度の弱点を克服し、学費負担者があらかじめ四年間の学費支払計画を立てられる学費制度に変更することと致しました。新制度の柱は次の通りです。

本学の学費は、札幌圏の文系私立大学の平均学費を目安として決定する。

入学年度から卒業年度までに要する総学費を入学手続きまでに明示する。

制度改定初年度の平成十一年度授業料は、次のような考え方を基本に決定しました。

卒業(四年次)まで授業料が確定している平成二年度入学生から平成七年度入学生までの各年度入学生の四年間総学費(入学金、諸費を除く)を、それぞれの前年度入学生の総学費と比較しその差額の平均値を求める。この値を平

平成10年度以前の入学生の授業料 (単位千円)

(1) 大学院法学研究科			
平成10年度	平成11年度	平成12年度	
現行授業料	新授業料	新授業料	
834	834	848	
平成13年度以降は法学部の授業料と同額とする。			
(2) 商学部第一部・人文学部・法学部・経済学部			
平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
現行授業料	新授業料	新授業料	新授業料
816	832	848	864
平成14年度以降は前年度に比べて16千円改定する。			
(3) 社会情報学部			
平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
現行授業料	新授業料	新授業料	新授業料
1,037	1,037	1,037	1,037
平成14年度以降は前年度と同額とする。			
(4) 商学部第二部			
平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
現行授業料	新授業料	新授業料	新授業料
460	468	476	484
平成14年度以降は前年度に比べて8千円改定する。			

平成11年度入学生の学費 (単位千円)

(1) 大学院法学研究科				
	平成11年度	平成12年度		
入学金	200	-		
授業料	834	874		
平成13年度以降は法学部の授業料と同額とする。				
(2) 商学部第一部・人文学部・法学部・経済学部				
	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
入学金	200	-	-	-
授業料	834	874	902	922
平成15年度以降は前年度に比べて20千円改定する。				
(3) 社会情報学部				
	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
入学金	200	-	-	-
授業料	1,037	1,073	1,100	1,110
平成15年度以降は前年度に比べて10千円改定する。				
(4) 商学部第二部				
	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
入学金	100	-	-	-
授業料	469	489	503	513
平成15年度以降は前年度に比べて10千円改定する。				

成八年度以降の入学生の総学費と前年度入学生の総学費との差額に当てはめる。

社会情報学部は現行の昼間部他学部の授業料との差額を維持する。商学部第二部は昼間部改定額(社会情報学部を除く)の二分の一とする。

ただし、①現行学費制度が適用されてきた平成10年度以前

前の入学生の授業料は現在の経済情勢に鑑み、上げ幅を若干抑制する。②社会情報学部は他学部との格差を縮めることを目標に一定の見直し政策を決定しています。

を行うため、平成十一年度入学生、平成十年度以前入学生の授業料について考慮するなどの微調整を加えて改定額を決定しています。

し得ない影響を及ぼす」経済である。我が国経済は、

大学選書 第7号を刊行
久保田 義弘 著
『ストック経済のマクロ分析
価格・期待・ストック』

経済の市場化が進めば進むほど、ますます政府の適切な舵取りが必要となる。経済は生き物であり、成長し構造も変化していく。適切な舵を取るためには、現実の経済を正しく把握していなければならない。

現在、我が国経済は政府の積極的な財政・金融政策にもかかわらず、景気は低迷し、不況を脱する糸口すら見出すことができない。経済政策の効果があがらないためである。なぜ、今日では経済政策が期待したほどの効果を得られなくなったのであろうか。その解答が本書で与えられている。

ストック経済とは著者の言葉を借りると、「資産価値の変化が経済主体に無視

すでに資産が家計や企業の行動にかなりの影響を与え

るストック化した経済となっている。こうした経済構造の変化を前提に経済を分析し、政策立案していかなければならない。本書では資産と実体経済との関連がさまざまな角度から緻密に分析されている。

こうした分析は、いま我が国が抱えている経済問題を解き明かすために不可欠である。多くの分野で優れたマクロ経済理論が発表されているが、本書はそれらの理論を踏まえ、うえで、ストック化した経済を明確に想定したマクロ経済分析であり、他に類のないものである。時宜にかなった意欲作である。

(経済学部助教授 鏡味 秋平)

企業の採用活動 早くも本番

就職戦線を勝ち抜くために

就職協定廃止後の就職環境のポイントを把握し、悔いのない就職活動で内定を獲得しよう。この四月には改正「男女雇用機会均等法」が施行され、企業の採用活動の変化が考えられるが、しっかりとした職業観を持って活動に臨むことが必要だ。

職業に対する 明確な考えを

「エントリーシートによる書類選考」と「職種別採用」が急速に広まっている。学生時代に何をやり、何を獲得し、何をどう生かしているか、これをどうにかして、自分にとってどういう意味があるか、何のために働くのかという

自己分析を徹底する

就職活動の原点は、自分をよく知ること。大学生活は、自らを振り返る機会が多くなる。短所が分かるはずだ。これを繰り返せば、自分はどういう適性・能力を持った人間か、どのような業種・職種に向いているのかが見えてくるだろう。納得できる就職活動を行うためには、自分を知り自信を持って相手に伝えることが不可欠だ。

情報収集の方法

資料請求、求人票の活用と共にインターネットも大いに利用しよう。学内外での合同企業説明会にも積極的に参加しよう。Eメールでしか応募を受け付けられない企業も増えているので注意が必要だ。UTライン希望者は、地元にいる友人や両親、兄弟に情報提供をお願いしておくことが有効だ。

大きな視点で考えよう

長引く不況の影響で、就職環境は必ずしも良いとは言えない。視点を変えて就職を考えた直してみよう。札幌の企業に的を絞っている学生が多いが、こだわりすぎると苦戦を余儀なくされる場合も出てくる。地方企業、道外企業にも目を向けて活動の幅を広げよう。内定のチャンスは大きく膨らむはずだ。

就職課を活用しよう

就職は決して与えられるものではなく、自らの活動によって勝ち取るもの。就職課は情報の宝庫なので、いろいろな相談・アドバイスを受けてよい。継続的に就職課を活用することがポイントだ。

筆記試験への準備を

最近では、人物本位の選考方法で面接を重視する企業が多い。筆記試験(SPI、一般教養、時事問題、作文等)の

小樽ヒルトン(株)内定



つらさをバネに 喜びを倍に

商学部第二部商学科4年 西川 文恵

今、私の大学生活を思い返すと、本当にいろいろなことがあったと思います。その中でも特に印象的な出来事というのは、期待と夢に胸を膨らませながら札幌学院大学の第一商学科に入学し、専門的な勉強に力を入れたこと、就職活動で親友と先生方、職員の方々に出会ったこと、大

秋、経済的な理由で大学を辞めなければならなかったこと。辞めた時はすごく悔しくて絶望的な気持ちでした。しかし、諦めずにもう一度受験勉強を頑張ったことで、働きの通え第二部商学科の編入試験に合格しました。大学に再び戻ってきた時は本当にうれしくて、その喜びは今でもよく覚えています。他の学生よりも私は少し遠回りをしたけれど、その分大学という枠の中で学ぶことができ、自分自身、精神的にも肉体的にも成長することができたと思っています。そして、過去の苦い経験は今では良い経験となりました。後輩の皆さんも、何か一つでも良いので、自分に自信が持てるようになってほしい。頑張ってください。

(株)ベネッセコーポレーション内定



武器は自分自身

社会情報学部社会情報学科4年 神長 国明

大学というのは、やらせと時間が有りすぎて、何かと考えることをする機会が増える。そうすると漠然とした不安に襲われることも多い。そういう時どうすればよいか。家で寝ているといい。僕もよく寝た。時には講義にも出ないで寝た。も

つとも、講義中も寝ることが多いので、年がら年中寝てばかりだった。それでも、何とかなるものだと気づくと、気が楽になる。自己存在証明が揺らぎ、不安定になることも多いが、そんなものは所詮、他人との差異でしかない。他人がいなくても、歌を作ったこと、今、自分が思っていること、何が楽しいか。世の中の存在そのものが意味のないものに見える。成功しようが失敗しようが、やるだけやってみよう。一生懸命やるだけやってみよう。自分自身は存在しないのだと分かったら、何だかどうでもよくなった。就職活動の時期が近づくと、何をすればよいか、何をすればよいか、分からなくて不安になるが、そのうち何とかなる

一九九八年九月三十日、本学OBの工藤寛さんは、札幌ダウラギリ峰登山隊のメンバーとして、ネパール・ヒマラヤのダウラギリ峰に登山成功しました。工藤さんは道内の登山者では初めて無酸素で八千メートル峰に登る快挙を成し遂げました。

高校時代に夏山を少しかじった私は、冬山をはじめ本格的な登山をやりたいと思

大学入学後ワンダーフォーゲル部の扉を叩きました。偶然にもその年バキスタンの八千メートル峰へ遠征するOBの方がおり、その方の壮行会と新人の歓迎を兼ね残雪の百松沢山へ登り、山や部の昔話等々聞き感しました。帰国後に見せていただいたスライドがそれを増幅させることになり、今思うと私の高峰登山の火付け役になったと思います。人はよく「なぜ山に登るの」と聞きますが、登山経験のあ

8千メートル峰

無酸素で征服

工藤 寛 (89年法学部卒)

る水河の存在、雪に隠されたクレバス、急な岩と雪のミックスした斜面や稜線の登行等々、今までのないシビレを感じました。次のネパールの七千メートル峰では男性的な高峰で、自ら岩壁や氷壁にルートを開き、足下千メートル下にべ

切酸素を吸わず登ろうと決心し実行。結果としてダウラギリ峰(八、一六七メートル)の頂に立つことができました。ラッセルに苦しみ頂上直下では雪庇を崩し、一番に頂に立つ時は言い知れない感激がありました。こんな所でこんなことができたという意外性ははつきり感じました。忘れつつある自然への探求心からの行動なのでしょう。ワンゲルとの出会いが八千への探求の旅のスタート地点です。一九九九、二〇〇〇年とその挑戦の旅は続きます。最後に、現役時代顧問であった横山純一先生(現北星学園大学教授)をはじめワンゲル部OB・現役の皆さん、応援ありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



5,100メートル地点から望むダウラギリ

平成10年度 学位記授与式 3月19日(金) 厚生年金会館で

平成10年度の大学院法學研究科並びに商学部第一部・経済学部・人文学部・法学部・社会情報学部・商学部第二部の学位記授与式(卒業式)が、三月十九日(金)午後一時から(卒業生は十二時三十分まで)に式場(集合)、北海道厚生年金会館ホールで挙行されます。当日は、授与式終了後、式場にて卒業生に「学位記」を授与します。卒業証明書等は期限内に申し込んだ学生に限り、ロビーにて交付されます。続いて、卒業祝賀会が京王プラザホテル札幌にて午後四

おくやみ 故上口三子 元法人課長



中島公園の池畔に開学した折の唯一の職員として就任されました。その後、札幌短期大学事務局長・札幌学院大学法人課長・札幌学院大学同窓会担当課長等の要職を歴任、平成六年三月に惜しまれながら定年退職されております。 本学の歴史と共に歩まれた四十八年間、氏は、幾多の困難な時代にも弱音をほくことなく、教育・研究を支える職員としての任務を担い、本学園の発展に多大な貢献とご尽力をいただきました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

軟式野球部 春期 リーグ戦

悲願の初優勝

全国大会で収穫.....来季に期待つなく



我々軟式野球部は、打倒北海学園大学・札幌大学を目標

に、春先から練習に打ち込みました。

昨年のチームは二年生が中心で、五月の練習試合では最

悪の結果でした。しかし、前年からの雪辱を果たすという春からの誓いを新たに、それが功を奏し春期リーグ戦、悲願であった初優勝を接戦の末勝ち取り、八月に長野県小諸市で行われた全国大会に出場しました。結果は2回戦で大阪国際大学に敗れましたが、学ぶことの多い、また新たな目標を持たせた大会でした。秋リーグ戦においても、北海道大学とのプレオフの末これを破り、優勝をおさめ、十一月に栃木県日光市で行われた東日本大会に第一代表として出場しました。

全国大会での経験が生き、1回戦の対富士大学に6-2で勝利し、迎えた2回戦、対明治大学では序盤のチャンスをもものにできず、2-4で敗戦、とても長いシーズンを終りました。来シーズン以降は、追う立場から追われる立場になりませんが、今シーズンの経験と強い目標を持って練習に、そして試合に臨んでいきたいと思っています。今シーズンで部員一人一人



軟式野球部主将 佐藤 貴広

が、また部全体としても一廻りも二廻りも成長した貴重な一年だったと思います。最後にになりましたが、応援して下さい。大学関係者の方々、ご指導下さったOB、ご支援とご理解を頂いた父母の皆様にお礼を申し上げます。来季以降の軟式野球部の活躍に期待して下さい。経済学部3年 佐藤 貴広

我々アイスホッケー部は、九八年四つの大会に出場しました。部員数は若十二名ながら、七月の「札幌アイスホッケー連盟会長杯」では準優勝、十月の「札幌学生アイスホッケーリーグ」では3位、十一月の「北海道学生リーグ」では優勝することができました。そして、十一月九日から二十二日にかけて行われた「日本学生氷上競技選手権(インカレ)」北海道予選では、優勝を逃したものの、準優勝で六年連続の全国大会

出場を決めることができました。全国大会は、一月六日から九日までの日程で栃木県日光市にて行われます。昨年は1回戦を2-1と勝利しましたが、2回戦では関東学生リーグ1部校の強豪、日本大学と対戦し、0-9と完敗しました。まだまだ北海道の大学におけるアイスホッケーのレベルは全国レベルに到達していないと痛感しました。今年の全国大会においても、関東学生リーグの強豪校と対戦する

ことになりそうですが、アイスホッケーの本場、北海道の代表として昨年以上の成績を残せるよう、現在氷上にて練習を重ねている状況です。私個人は、この全国大会を最後に学生生活におけるアイスホッケーにピリオドを打ちますが、悔いの残らないよう、チーム一丸となって頑張っていきますので、ご声援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。(九八年十二月記)



アイスホッケー部 コマを進める

アイスホッケー部主将 竹原 健

体育系クラブ

主な大会の軌跡

- ◆長野オリンピック
 - ◇男子フリースタイルスキー・モーグル2名出場
 - 原 大虎、坂本 豪大
 - 原 大虎 予選通過→決勝15位
- ◆海外遠征
 - ◇世界ジュニアカーリング(女子)
 - 小野寺 歩 準優勝
- ◆第53回国民体育大会秋季大会出場者
 - 自転車競技(成年男子) 弘明
 - アーチェリー競技(成年男子) 福原 慎
 - 陸上ホッケー競技(成年男子) 中島 卓
- ◎体育系特別クラブ
- フィギュアスケート
 - ◇98東北・北海道フィギュアスケート選手権大会
 - 男子シングル:3位 高木 正志
- 馬術
 - 第12回北海道馬場馬術大会
 - アジア大会記念団体
 - 馬場馬術課目 優勝
- アメリカンフットボール部(1部リーグ)
 - 春季オープン戦 4勝1敗
 - 第24回北海道学生アメリカンフットボール
 - 1部リーグ6位 1部・2部入れ替え戦 1部残留
- 弓道部(男女共に1部リーグ)
 - 北海道学生弓道争覇戦
 - 団体戦男子:優勝 女子:準優勝
 - 第45回全道学生弓道選手権大会
 - 団体戦男子・札幌学院大学A 優勝
- 剣道部
 - 第44回北海道段別剣道選手権大会
 - 選抜リーグ1:優勝 原田 秀紀
 - 選抜リーグ2:優勝 渡邊 忍
- 男子硬式庭球部(1部リーグ)
 - 第66回北海道学生テニストーナメント大会
 - シングルス:優勝 長谷川大輔
 - ダブルス:優勝 古内 洋・菅原 好喬
- ゴルフ部(Aブロック)
 - 第35回全日本大学ゴルフ対抗戦出場
 - 第46回朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権予選通過 中振 浩之
 - 第44回信友杯争奪全日本大学ゴルフ対抗戦出場
- ソフトテニス部(1部リーグ)
 - 学生ソフトテニス選手権 大学対抗リーグ戦 優勝
- パワーリフティング部
 - 第25回全日本学生パワーリフティング選手権大会
 - 100kg級:優勝 小川 英則

- 洋弓部
 - 第37回全日本学生アーチェリー個人選手権大会出場
 - 第9回全日本学生アーチェリー東日本大会
 - 個人戦男子:11位 福原 慎
- ラグビー部(1部リーグ)
 - 第49回北海道地区大学ラグビー選手権大会出場
- 陸上競技部
 - 第50回北海道学生陸上競技対校選手権大会
 - 男子総合優勝、女子総合3位
 - (男子)
 - 800m : 優勝 東 寛之
 - 5000m : 優勝 太田 崇 (大会新)
 - 10000m : 優勝 太田 崇 (大会新)
 - 110m障害 : 優勝 河合 秀明
 - 走り高跳び : 優勝 檜作 聡
 - 走り幅跳び : 優勝 藤原 暁
 - 砲丸投げ : 優勝 市村 隆典
 - 円盤投げ : 優勝 長谷川暢臣
 - やり投げ : 優勝 尾崎 岳史
 - ハンマー投げ : 優勝 真龍 大介
 - 十種競技 : 優勝 矢野 慎吾
 - (女子)
 - やり投げ : 優勝 高橋 円
 - 第82回日本陸上競技選手権大会出場(男子)
 - 800m : 東 寛之
 - 十種競技:金曾 伸浩
 - 第30回全日本大学駅伝対校選手権大会 22位
- 陸上ホッケー部
 - 第32回北海道ホッケー選手権大会 優勝
- 日本拳法同好会
 - 日本拳法全道選手権大会
 - 軽量級 :3位 佐々木伸哉
 - 中重量級:優勝 蒔田 知広
 - 佐々木、蒔田は全国大会へ出場
- 応援指導部
 - 第9回北海道チアリーディング選手権大会 準優勝
 - (日本選手権大会のシード権獲得)
- 少林寺拳法部
 - 第32回少林寺拳法全日本学生大会 出場
- 軟式野球部(1部リーグ)
 - 全国大学軟式野球選手権大会出場
 - 第19回東日本大学軟式野球選手権大会出場
- アイスホッケー部
 - 北海道学生アイスホッケーリーグ 優勝
 - 全日本学生アイスホッケー道予選 準優勝

“鉄”の魂が伝統

鉄道研究会

創部七年目を迎える鉄道研究会は、少人数ながらも大学祭展示発表では二年連続優勝するなど充実した活動を続けている。主な活動は、季刊発行の会報「待合室」の編集である。

幅広い視野と読みやすい誌面づくりを目指す「待合室」の内容は、各役員が旅の中で感じた出来事を中心に、鉄道の利点や問題点、地域の問題、現状などを織り交ぜた非常に内容の濃い、読み応えのあるもの。最近一般の読者だけでなく、学内外の教員たちを

も唸らせるレベルに達し、ますます士気があがる。九六、九七年度には、JR北海道企画の「乗って乗ってチャレンジ二五〇キロ」に参加。それぞれ一年かけて道内三五駅を巡り、五名が見事踏破し、記念の盾や北海道内乗り放題の切符を授けられた。最近の若者にありがちな「オタク」根性とは違い、体を張って趣味活動を展開する「鉄の魂を持つ肉体派」の伝統を持つ鉄道研究会の、今後の取り組みに注目したい。



旧深名線の廃線跡を探策